

# 組織目標評価報告書（令和6年度）

部局名:

医学部医学科

学域名:

医歯薬学域(医)

部局長名:

豊岡 伸一

目標・取組	目標・取組の達成状況(成果)及び新たに生じた課題等 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	<b>教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>1. 医学部医学科の学生に対する社会的要請(良医の育成)を踏まえたアウトカム基盤型教育の推進に取り組む。 ・カリキュラム、学修成果/コンピテンシー及び学生評価の見直し ・診療参加型臨床実習における学生医行為の実施促進</p> <p>2. 医学科における円滑・着実な医学教育改革を目的とした「医学科企画室」を新設する。</p> <p>3. 医学部医学科における教育の特色と強みを広く発信し、入学者受入れ方針に適合する志願者の確保を図る。</p> <p>4. 令和4年度改訂「医学教育モデルコア・カリキュラム」の目指すべき方向性を踏まえ、多様な学生が学びを通じて成長するための教育プログラムの開発・実施に取り組む。 ・医療系学部(医・保歯薬)合同による多職種連携教育(IPE)科目の計画・実施</p> <p>5. 医学科における学内外の指導医向けFDの推進に取り組む。 ・デジタルを活用したFDコンテンツの制作と配信 ・臨床実習指導医認定制度の設置に向けた共通評価法の開発</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> <p>関連する 中期計画の番号</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(2-1)</p> <p>(2-2)</p> <p>(3-1)</p> </div> </div>	<p>1. <b>医学部医学科の学生に対する社会的要請(良医の育成)を踏まえたアウトカム基盤型教育の推進に取り組む。</b> 令和6年度は、カリキュラム改革として医学部医学科の3ポリシー及びカリキュラムマップ/ツリーの見直し並びに、医学科ディグリー・ポリシーと医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける各資質・コンピテンシーとの整合作業を行なった。また、学生の診療参加型臨床実習における診療能力評価として、「Okadai-EPA」を開発・導入し、デジタルを活用した学修成果の可視化と教育業務の効率化を図った。</p> <p>2. <b>医学科における円滑・着実な医学教育改革を目的とした「医学科企画室」を新設する。</b> 医学科企画室を新規設置し、3ポリシーに基づく医学科の教育について、学内外の専門家や教育組織並びに各学内会議等との連携・協働を図りながら教育に関する企画の策定・運営のための会議(計37回)を実施し各委員会に対して提案・助言を行った。</p> <p>3. <b>医学部医学科における教育の特色と強みを広く発信し、入学者受入れ方針に適合する志願者の確保を図る。</b> 医学科広報委員会を通じて、より訴求力の高い令和6年度大学案内の記事を作成し、医学科HPで教育内容や成果に関する情報発信を行なった。(HP更新回数:計28回)また、医学科における学士編入及びIB枠入試の評価基準を見直し、より入学者受入れ方針に適合する志願者の確保を図った。(医学科2025年度一般選抜 志願倍率 3.1倍)</p> <p>4. <b>令和4年度改訂「医学教育モデルコア・カリキュラム」の目指すべき方向性を踏まえ、多様な学生が学びを通じて成長するための教育プログラムの開発・実施に取り組む。</b> 令和6年度は、医歯薬保の1年次学生32名を対象とした多職種連携授業(計8回)を実施するとともに、9月に集中講義形式により開講した「チーム医療演習」には医歯薬保の3~5年生の計266名が受講し、医療系学部における多職種連携教育の推進を図った。</p> <p>5. <b>医学科における学内外の指導医向けFDの推進に取り組む。</b> 令和6年度は、FD活動として5月に新任教員を対象とするセミナーをオンライン開催し、32名の参加者に対してグループワーク等による医学教育に関する研修を行なった。また、上記セミナーの内容を複数の動画コンテンツとして再編集し、医学科の全教員向けに配信し、学科全体の教育能力向上に努めた。また、これまで診療科ごとに異なっていた臨床実習評価表に統一フォーマットを導入し、学内外での共通評価を可能とした。</p>
<b>②研究領域</b>	<b>研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b>
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	<b>社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>1. 地域医療貢献事業:地域医療を教えるための指導医講習会を開催する。</p> <p>2. 医療DX推進事業:医療へのAI活用に関するセミナーを開催する。</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> <p>関連する 中期計画の番号</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(6-1)</p> </div> </div>	<p>1. <b>地域医療貢献事業:地域医療を教えるための指導医講習会を開催する。</b></p> <p>2. <b>医療DX推進事業:医療へのAI活用に関するセミナーを開催する。</b> 令和6年度は、文科省「ポストコロナ時代の医療人養成拠点事業」の取り組みとして、鳥根大学、香川大学、鳥取大学との4大学医学部合同による指導者養成講習会「地域医療共育のためのシミュレーション研修AI」を開催し、昨年度までのリーダーシップの養成に加えて、生成AIを用いたシミュレーション体験などを行い、研修内容に医療へのAI活用セミナーとしての要素も追加した。(受講生13名)</p>
<b>④管理運営領域</b>	<b>管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>1. 医学科における迅速な教学マネジメントを実現することを課題として、医学科IR室と連携協働し活動する部署の設置について検討する。</p> <p>2. 医学部運営に関するDXを含むデジタル化について検討する。</p> <p>3. 若手教員・女性教員の積極的採用を行い、研究・教育の場で活躍しやすい環境を作る。</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> <p>関連する 中期計画の番号</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(15-1)</p> </div> </div>	<p>1. <b>医学科における迅速な教学マネジメントを実現することを課題として、医学科IR室と連携協働し活動する部署の設置について検討する。</b> 令和6年4月に医学科企画室を新規設置し、既存の医学科IR(Institutional Research)室や医療教育センター並びに卒業臨床研修センターとの連携・協働を図りながら医学教育に関する企画の策定・運営のための会議(計37回)を実施し、医学科執行部並びに各委員会に対して提案・助言を行った。(既出)</p> <p>2. <b>医学部運営に関するDXを含むデジタル化について検討する。</b> 医学部医学科の運営に関する会議・委員会において、一部の会議を除き、会議のオンライン化を図った。(オンライン化率92.7%) また、会議のオンライン化に伴い、会議資料のペーパーレス化を推進した。</p> <p>3. <b>若手教員・女性教員の積極的採用を行い、研究・教育の場で活躍しやすい環境を作る。</b> 若手教員に関しては令和6年5月と令和7年2月を比較すると、22%から19%とやや減少した。女性教員については同じく18%から20%へやや増加している。活躍しやすい環境をさらに整備する必要がある。</p>

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。